

第 7 回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成 28 年 11 月 30 日開催分)

△森会長挨拶

森府医会長は冒頭、アメリカ大統領選挙について、来年 1 月 20 日に第 45 代アメリカ大統領に就任するドナルド・トランプ氏から打ち出される政策方針によって、安全保障政策や TPP など今後の日本社会への影響に懸念を示した。

次に、国の来年度予算編成に触れ、財務・厚生労働両省は 2017 年度予算案で、社会保障費の自然増を 1000 億円規模に抑制するべく、「高額療養費制度」や「後期高齢者医療制度」などの高齢者負担の見直しを検討していると紹介し、小泉構造改革時の社会保障費 2200 億円の削減を思い起こすと危機感を示し、安倍一強内閣においては関連団体の要望が通りにくいとしつつも、日医は会員や国民に見える形で強く要望することが重要であるとの考えを示した。

最後に、府医は来年創立 70 周年を迎え、10 年 20 年先に繋がる取組みへ向け努力していきたいとの意気込みを示し、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 今の医療、こんなんで委員会「公開委員会」について（大坪理事）

12 月 4 日（日）「認知症を考える～認知症本人が他の病気になったとき～」をテーマに公開委員会を開催すると紹介し、多数の参加を募った。

2. 損害保険・生命保険のご案内—有限会社ケーエムエー—（大坪理事）

有限会社ケーエムエーは、府医の 100% 出資で平成 15 年に設立した総合保険代理店であり、会員向けの団体保険制度をはじめ、各種損害保険・生命保険を取り扱っていると紹介した。今般、東京海上日動あんしん生命のライフパートナーと事業提供を開始したことを報告し、積極的な活用を求めた。

3. 団体傷害保険について（大坪理事）

府医では、A 会員を対象として事故による死亡・後遺障害を補償する団体傷害保険に加入していることを紹介し、急激かつ偶然な事故によって身体に被った傷害（ケガ）により死亡または後遺障害を負った場合には保険金が支払われるとし、該当する事故が起こった場合には府医事務局総務課まで連絡していただくよう、地区での周知を依頼した。

4. 麻薬新免許証の交付について（三木理事）

10 月に申請書を提出された本年の更新対象者の麻薬免許証について、交付日時・場所や必要書類等を説明した。（京都医報 12 月 1 日号「保険だより」参照）

5. 最近の中央情勢について（古家理事）

10月下旬から11月中旬にかけての社会・医療保険状況について、緊急薬価改定の話を中心に説明した。

6. かかりつけ医がん対応力向上研修について（北川副会長）

がん診療連携拠点病院と医師会・病院協会等が連携し、最新のがん医療に即したフォローアップおよびがんと診断された時から切れ目のない緩和ケアを受けられる体制の構築を目的に、京都府主催の研修会が行われると紹介した。（京都医報11月15日号「地域医療部通信」参照）

7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

12月、1月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を募った。

8. その他

なし。

9. 地区からのご意見・ご要望

なし。